

飛鳥山分水路（石神井川）

施設概要

飛鳥山分水路は、石神井川下流部において王子駅周辺で蛇行していた石神井川本川を分水路で直線化することにより、周辺の水害を早期に解消することを目的として整備したものです。

この分水路は区立飛鳥山公園と JR 京浜東北線等の地下を通過し再び本川に合流します。

整備にあたっては、二本の円形トンネルをシールド工法で二期に分けて整備しており、第一期工事は昭和 43 年に、第二期工事は昭和 58 年に完成しています。なお、都の河川事業では初の試みであるシールド工法を採用しました。

分水路による直線化後に残された本川の一部は、北区の公園整備事業において、水に親しめる区立音無親水公園として整備されました。



分水路呑口

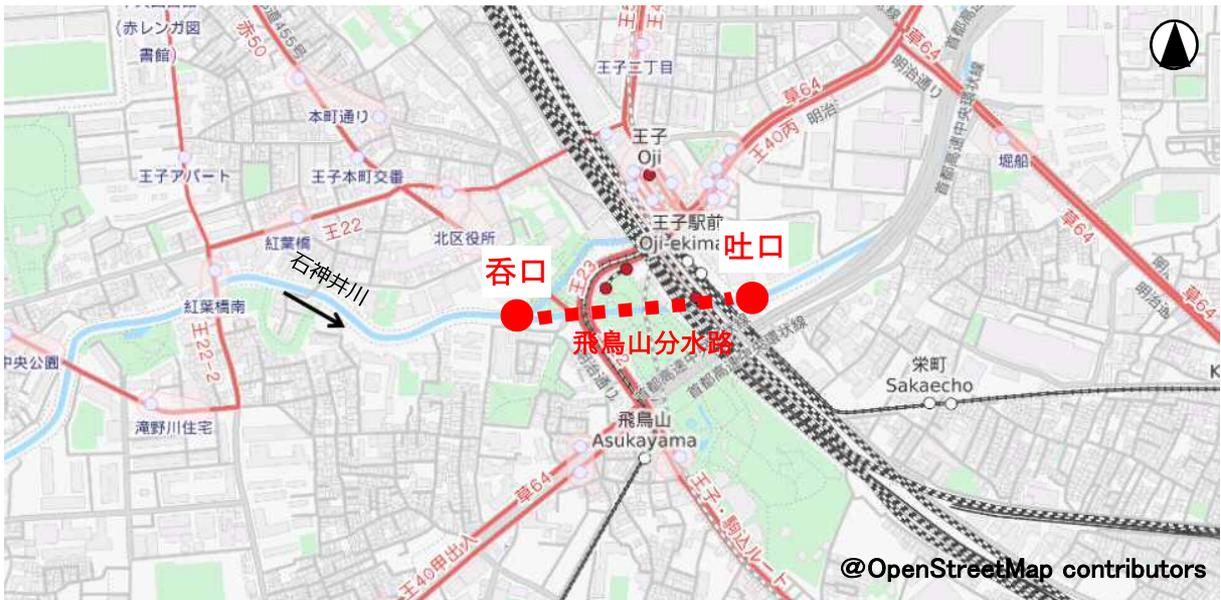


分水路吐口

施設諸元

位置	北区王子一丁目～北区滝野川二丁目
完成年度	昭和 58 年（第一期昭和 43 年）
区間	王子桜橋上流～音無橋上流
延長	380m
断面構造	内径 6.5m×2 連

位置図



●呑口位置のQRコード



●吐口位置のQRコード

